

はじめに

愛知県では、リニア中央新幹線が全線開業する 2040 年頃を展望し、2030 年度までに取り組むべき重要政策の方向性を示す「あいちビジョン 2030」を 2020 年 11 月に策定しました。その後、新型コロナウイルス感染症の流行や、ロシアのウクライナ侵攻等に伴う原材料価格の高騰、急速な円安の進行など社会経済状況が変化しており、県民の生活や地域経済にも大きな影響を与えています。

また、2019 年をピークに本県の人口が減少に転じ、その後も減少傾向が続く中、加速しているデジタル化や世界の潮流となっているカーボンニュートラルへの取組なども大きな課題となっています。こうした環境変化にも的確に対応しながら、ビジョンに掲げた、めざすべき愛知の姿である「危機に強い愛知」、「すべての人が輝き、活躍できる愛知」、「イノベーションを創出する愛知」、「世界から選ばれる魅力的な愛知」の実現に向け、着実に取組を進めています。特に、2022 年 11 月に県政 150 周年の節目を迎え、11 月 1 日にオープンしたジブリパークを始め、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」や愛知国際アリーナ、アジア・アジパラ競技大会、中部国際空港第二滑走路など愛知の将来の発展を牽引する大型プロジェクトが大きく前進しました。

ビジョンの推進にあたっては、毎年度、年次レポートを作成し、政策の進捗状況や新たに取り組むべき課題の把握などを行っています。今年度は、「あいちレポート 2022」と題し、ビジョン策定後の社会経済情勢を踏まえつつ、地域の現状を明らかにし、県の取組を示すとともに、県内各地域における人口、産業等の動向や各地の取組を紹介しています。また、県政 150 周年を記念して、愛知の現在までのあゆみを統計資料等で振り返るとともに、激化する世界の大都市圏との競争を意識して、本県と海外の都市等の比較分析を実施しています。

県民の皆様をはじめ、国、市町村、企業、各種団体など、関係の方々とともに、引き続き、愛知の地域づくりに全力で取り組み、未来に輝く「進化する愛知」をつくってまいりたいと考えております。多くの方々に、このレポートを活用いただけることを心から願っております。

2023 年 3 月



愛知県知事
大村秀章